

公益社団法人インテリア産業協会

平成27年度事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

I 基本方針関連（概要）

年度当初に掲げた基本方針関連の事業の概要については次のとおりです。

- (1) インテリアコーディネーター(IC)及びキッチンスペシャリスト(KS)資格者の能力向上等のためのセミナーその他のイベントについては、全国9支部の活動で102件実施しました。
- (2) インテリアの普及および資格者の育成を目的に取り組んだ展示会事業については、食空間のインテリアに効果的なテーマ展示をはじめとして全国で11件の展示会事業に積極的に取り組みました。
- (3) 資格者に対しての有益情報の提供の充実については、特にメールマガジンによるKSに対する情報提供の充実を図りました。
- (4) IC・KS資格者等が行う調査・研究活動については、キッチンを除くインテリアの分野で3件の助成対象テーマの拡大を行い、キッチン関係を含み合計で6件のテーマについて助成を行い支援しました。

II 個別事業

1. 教育・情報提供事業

1-1 情報提供活動

インテリアについて学ぼうとする者、ICまたはKS資格認定試験を受けようとする者等に対しての書籍頒布につきましては、「インテリアコーディネーターハンドブック統合版」4刷版（上下巻約1000セット）の増刷・頒布を行い、平成28年度当初の需要に対応しました。

資格者へのメールマガジン配信については、定期的に年間22回、不定期に80回の配信を行い、KSに対してはこれまで以上に情報提供の充実を図りました。

ホームページの資格者専用利用ページ(MY ページ)については、必要な情報の更新を行うなど適切に運営しました。

1-2 通信教育事業

通信教育事業については、IC・KS資格試験の受験を目指すなどインテリアについて学ぼうとする受講申込者に対して、次のとおり講座を確実に実施しました。

① IC受験講座：

本年度の講座は、のべ373名(前年度520名)が受講しました。

② KS受験講座：

本年度の講座は、のべ190名(前年度208名)が受講しました。

2. 資格認定試験事業

2-1 IC資格認定試験

第33回IC資格認定試験を、次のとおり実施しました。

- ・一次試験 平成27年10月11日(日)
- ・二次試験 平成27年12月6日(日)
- ・試験会場 次の全国12地域
札幌、盛岡、仙台、高崎、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡、沖縄

一次試験については、科目統合以前の科目別試験免除措置者に対して、本年度が最後となる科目別試験も併せて実施しました。

合格者数等の結果は次のとおり。

■平成27年度(第33回)申請者・受験者・合格者の概要

【一次試験】(人)		【二次試験】(人)	
受験申請者数	10,323	二次受験対象者数	3,953(内:一次免除者1,469)
受験者数	8,927	受験者数	3,417(内:一次免除者1,112)
一次合格者数	2,603	二次合格者数	2,063
一次合格率	29.2%	二次合格率	60.4%

■合格者の推移

実施回[年度]	受験者数(注)	合格者数 (二次合格者数)	合格率
平成27年度[第33回]	9,154	2,063	22.5%
平成26年度[第32回]	9,361	2,297	24.5%
平成25年度[第31回]	9,605	2,362	24.6%
平成24年度[第30回]	9,789	2,554	26.1%
平成23年度[第29回]	9,876	2,472	25.0%

注:一次・二次の試験を通じて、当該年度に資格取得まで目指した受験者

2-2 KS資格認定試験

第28回KS資格認定試験を、次のとおり実施しました。

- ・試験日 平成26年12月6日(日)(IC二次試験と同日)
- ・試験会場 全国12地域(IC二次試験と同地域)

本年度の資格取得対象受験者は1,050名で、合格者は441名となりました。

■合格者の推移

年度	申請者数			資格取得対象 受験者数	合格者数	合格率(%)
	総合	実技・学科	総数			
H27年度(28回)	931	366	1,297	1,050	441	42.0
H26年度(27回)	875	341	1,216	975	338	34.7
H25年度(26回)	868	354	1,222	997	394	39.5
H24年度(25回)	853	294	1,147	891	342	38.4
H23年度(24回)	804	392	1,196	935	388	41.5

3. 資格更新登録事業

3-1 登録更新業務の確実な実施

定常的なIC・KS資格者の登録更新業務を、資格登録システムを利用して確実に実施しました。従前からの連絡先住所不明者に対して電話照会をする取り組みを行い、更新遅れの防止を図りました。

平成27年度の新規登録者を加えて、年度末時点における登録資格者は次のとおりです。

- ・IC資格登録者数： 55,629人（前年度末：54,845人）
- ・KS資格登録者数： 8,329人（前年度末：8,340人）

3-2 更新者への有益情報の提供

資格者の活動に有益な知識・情報を盛り込んだ「IC・KS読本」を最新化するとともに、本年度は最新のインテリアトレンド情報を掲載した「IC・KS読本2016」を追加作成し、IC・KSの更新該当者全員に、更新案内に添えて提供しました。

3-3 IC・KS資格者の就業状況等の実態把握の調査

今後の資格者の育成等に役立てる基礎的情報を得るために行った「資格者基礎アンケート調査」については、IC・KS全資格者約64,000人のうち約29,000人に対して行い、約17%の回答を得ました。結果は協会内で活用するほか一部は会報に掲載して資格者の実態について広報しました。

4. 講座等開催事業・IC団体との連携・協力

4-1 能力向上・インテリア普及啓発講座等の開催

(1) 各地域の支部が実施の主体となって、場合により会員企業の参画や地域IC団体の連携協力を得て、IC・KSの能力向上及びインテリアの普及を目的とした講座・セミナー、講演会等を、全国各地で以下のとおり開催しました。

①北海道支部（全9件）

◇「テーブルコーディネートの基本とインテリアへの応用講座」

（札幌、北見、旭川、帯広、釧路、函館の地域で開催）など

- ②東北支部（全9件）
 - ◇「暮らしに役立つインテリアテクニク」セミナー
 - ◇「北欧のひかりと暮らしに学ぶ・・・照明デザインの仕事」セミナーなど
 - ③関東甲信越支部（全24件）
 - ◇「リモデルで安全快適な暮らしを高齢者へ」セミナー
 - ◇「インテリアデザインの生まれる背景」セミナー など
 - ④中部支部（全17件）
 - ◇「IC・KS 新人研修会（インテリアビジネスの現状ほかセミナー）」
 - ◇「箱物家具の構造編」セミナーなど
 - ⑤関西支部（全13件）
 - ◇「J I I A－K A N S A I 文化フォーラム」
 - ◇「カラーコーディネート集中講座」セミナーなど
 - ⑥中国支部（全9件）
 - ◇「2016 デザインフォーラム（Casa BRUTUS の作り方）」
 - ◇「IC・KS セミナー（住んでる人も気づかない木の不思議な力）」など
 - ⑦四国支部（全8件）
 - ◇「インテリアフェア 2016 イン徳島」
 - ◇「スキルアップセミナー2015」（壁紙、照明、家具等 全5回）など
 - ⑧九州支部（全12件）
 - ◇「家具セミナー産地をつなぐデザインの力 ～みやこんじょ家具の種まき～」
 - ◇「キッチンスペシャリストセミナー&交流会2016」など
 - ⑩沖縄支部（全1件）
 - ◇「インテリアセミナー2015」（照明計画、LED照明）
- (2) 主に資格者育成のために新規に取り組んだ、全国共通的に特定のテーマと講師を設定した講演会については、次のとおり実施しました。
- ◇「インテリアトレンドセミナー いま、求められているインテリア」ほか
 - ◇開催地： 東京、名古屋、福岡、那覇
- (3) また「出前授業」と称して、工業高校のインテリア科などでインテリアコーディネーションやICの仕事などに関するセミナーを次のとおり行いました。
- ①本部 1件（千葉工業大学）
 - ②中部支部 3件（名古屋市立工芸高等学校）
 - ③中国支部 1件（広島県立宮島工業高等学校）

4-2 IC団体との連携・協力及びその活動支援

各地域のIC団体との連携・協力については、前述の各支部における講座開催事業において、テーマ募集・企画・実施を通じて連携・協力したほか共同開催するなどして活動を支援しました。

5. 調査研究支援事業

I C・K S等が行う調査・研究への支援として、本年度はキッチン関係のみならずインテリア関係にも拡大してテーマ公募・選定を行い、次のとおり全6件のテーマに対して活動資金を助成しました。

- ①応募テーマ数 9件（キッチン関係：3件、インテリア関係：6件）
- ②採択テーマ数 6件（キッチン関係：3件、インテリア関係：3件）
- ③採択テーマ名（応募者）

【キッチン関係】

- ◇「キッチンと食への関心度によるライフスタイル分類に関する調査・研究」
（キッチンからはじまる暮らし研究会）
- ◇「人が集う食空間・キッチン&ダイニングを考える」
（神奈川インテリアコーディネーター協会）
- ◇「標準的な都市型ファミリータイプマンションにおけるキッチン・食周り環境 最適化のための調査研究」
（暮らし方リフォームキッチン研究班）

【インテリア関係】

- ◇「高等学校インテリア科使用教科書「インテリア計画」の教員用指導書
ならびに資料集の作成」
（全国高等学校インテリア科教育研究会）
- ◇「超高齢化社会におけるインテリアのあり方（インテリアのチカラ）
～エイジングインテリア～」
（松本ゼミ エイジングインテリア）
- ◇「家庭内省エネについて K S, I Cの果たす役割の検証 Vol. 3
スマートインテリア～うちエコ（家庭内省エネ）の共存」
（J A F I C A うちエコ研究会）

6. コンテスト事業

I C・K S資格制度の普及と資格者の能力向上を目的に、以下のコンテストを継続実施しました。昨年度に引き続き入賞作品を掲載した年度型カレンダーの制作を行い広く頒布し認知度の向上を図りました。

6-1 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト

経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞の下付を受けて、次のとおりコンテストを実施しました。「高校生部門」については、審査結果が就職や進学に生かせるように一般部門より実施時期を早めています。

【一般部門】

- ①応募受付期間 平成27年11月2日～11月24日
- ②募集テーマ（応募作品数）

◇事例分野

新築部門（29） リフォーム部門（40） スタyling部門（18）

◇課題分野

A部門「私だけのインテリア空間」（155）

B部門「照明を活かしたユニークなインテリア空間」（41）

◇応募総数 283作品

③審査結果 経済産業大臣賞1作品、製造産業局長賞1作品、会長賞2作品、部門賞5作品、優秀賞5作品、審査員特別賞4作品、合計18作品

④上位入賞作品一覧

■事例分野

	賞名	応募部門	作品タイトル	入賞者(代表者)
1	経済産業大臣賞	リフォーム部門	本に囲まれて暮らす家	花井 佳代
2	協会会長賞	リフォーム部門	夢のGarage Life	武田 克広
3	部門賞	新築部門	羽束師の家-物語の中に住まう-	水本 純央
4	部門賞	リフォーム部門	猫と暮らす趣味室のある終の棲家	角谷 由美
5	部門賞	styling部門	ACTIVE&ELEGANT	井上 さつき

■課題分野

	賞名	応募部門	作品タイトル	入賞者(代表者)
1	製造産業局長賞	A部門	FOREST Library	粟冠 友美
2	協会会長賞	A部門	TentBlock	永吉 佑吏子
3	部門賞	A部門	床の下の秘密の世界	池川 健太
4	部門賞	B部門	陽だまりの場	長原 みずほ

備考：A部門：「私だけのインテリア空間」、B部門：「照明を活かしたユニークなインテリア空間」

【高校生部門】

- ①応募受付期間 平成27年7月7日～7月27日
- ②募集テーマ わくわくリビング空間
- ③応募数 230作品（21校）
- ④審査結果 会長賞1作品、高校生部門賞1作品、優秀賞2作品、奨励賞3作品、合計7作品
- ⑤上位入賞作品一覧

	賞名	作品タイトル	入賞者	所属高等学校
1	協会会長賞	DICE ～6ways of living～	オプレシオ アヤミカエラ	東京都立工芸高等学校
2	高校生部門賞	Good morning sun, Good night moon	和田誠悠	静岡県立科学技術高等学校
3	優秀賞	Grow Grow Interior	望月穂野香	静岡県立科学技術高等学校
4	優秀賞	fuwafuwa カーテンに手をかけて	大角日和	千葉県立市川工業高等学校

6-2 「キッチン空間アイデアコンテスト」（第4回）

KS資格制度の普及の一環として、全体テーマ「こんな人に、こんなキッチン
を伝えたい」を掲げて、次のとおり実施しました。

①テーマ受付期間 平成27年9月1日(火)～10月30日(金)

②募集テーマ(応募数)

A 団らんキッチン空間(214)

B 人に優しい空間・地球に優しいキッチン空間(101)

C 暮らしが変わったキッチンリフォーム空間(28)

応募総数 343作品

③審査結果 会長賞1作品、最優秀賞2作品、優秀賞7作品、
奨励賞15作品 合計25作品

④上位入賞作品一覧

	賞名	応募テーマ	作品タイトル	入賞者
1	協会会長賞	B	ワーキングママのためのランチタイムキッチン	堀木 紀代美
2	最優秀賞	A	裾分けキッチン	木俣 洋子
3		C	小さな家の大きな食卓	永井 智樹 小山 明子
4	優秀賞	A	廃校のキッチン ～農村で生まれる新しいコミュニティの空間～	今泉 ひかり
5		A	キッチンを通じた一人暮らし支援 ～『心』と『体』の健康づくり～	渡辺 ゆき乃 小澤 加聡美 齋藤 芳徳
6		A	INFORMAL SPACE	タン プンチュウ
7		B	難民キャンプのトレーラーキッチン	十河 彰・十河 麻美
8		B	私のキッチンスタジオ-味覚は視覚から-	渡辺 ひかり
9		C	みまもりキッチン	星川 知加子・小泉 太
10		C	K邸キッチン パーティーカウンター	歌 一洋

備考 A: 団らんキッチン空間 B: 人に優しい空間・地球に優しいキッチン空間 C: 暮らしが変わったキッチンリフォーム空間

6-3 入賞作品カレンダーの制作

昨年に引き続き上位入賞作品を掲載した年度型カレンダーを次のとおり2種類制作して、インテリア関連の企業や学校等に広く頒布しコンテストや入賞作品の認知度向上を図りました。

◇住まいのインテリアコーディネートコンテスト一般部門及びキッチンアイデアコンテストの統合版

◇住まいのインテリアコーディネート高校生部門版

7. インテリア普及啓発・展示会開催事業

7-1 展示会事業

本年度は本部・支部において、合計9つのインテリア関連展示会の主催、共催又は出展を行い、インテリアの普及、資格者の能力・認知度の向上を図りました。

(1)本部が参画した展示会

①「グッドモーニングテーブル 大人の休日、朝生活」

期間 平成27年9月13日(日)～9月30日(水)

場所 東京 新宿パークタワー1F アトリウム

内容 ライフスタイルを反映したインテリア事例やワークショップ

形態 リビングデザインセンターOZONEとの共催

②「くらしのケアリングデザイン展 2015」

期間 平成27年10月21日(水)～11月3日(火)
場所 東京 西武池袋本店7F インテリアフロア特設会場
内容 シニアリノベーション展示(住まいコンテストの受賞作品の展出)
形態 (一社)ケアリングデザイン主催に出席

③「JAPANTEX 2015」

期間 平成27年11月18日(水)～20日(金)
場所 東京ビッグサイト東2・3ホール
内容 「ICが魅せるコーディネートエッセンス」(映像展示)
形態 (一社)日本ファブリクス協会の主催に出席

④「LED NEXT STAGE 2016」

期間 平成28年3月8日(火)～11日(金)
場所 東京ビッグサイト西1,2ホール
内容 「フォーカルポイント」(LED照明とインテリアの組み合わせ展示)
形態 日本経済新聞社主催の上記展示会に出席

(2)支部が参画した展示会

①東北支部「こんな部屋いいな」絵画コンテスト(第13回)

期間 平成27年11月3日(火)～8日(日)
場所 仙台 東北電力グリーンプラザ
内容 仙台市を中心にした宮城県下の小学生作品のコンテストと展示
形態 (公社)インテリア産業協会東北支部主催 宮城IC倶楽部協力
仙台市・宮城県・同市教育委・同県教育委後援
応募 1077作品

②九州支部「こんな部屋いいな」絵画コンテスト

【鹿児島地域】

期間 平成27年12月5日(土)～6日(日)
場所 鹿児島市 宝山ホールアートギャラリー
内容 鹿児島市内の小学生絵画作品のコンテストと展示
形態 九州支部と鹿児島IC協会の共催 鹿児島市・同教育委後援
応募 1619作品

【福岡地域】

福岡IC協会と共同主催で取り組んだ福岡地域の当該コンテストについては、福岡市内の小学生を対象に11月から翌年1月の間に作品募集を行い、610作品(19校)の応募がありました。審査を行った入賞作品の発表は平成28年度上期に行う計画としています。

③中部支部

◇「第45回 建築総合展NAGOYA2015」

期間 平成27年10月1日(木)～3日(土)

場所 名古屋市内 吹上ホール

内容 インテリア普及事業紹介展示 関連セミナー

形態 愛知建築士会・中部経済新聞社主催に出展

◇「あいち住まいるフェア2016」

期間 平成28年3月12日(土)

場所 愛知県芸術文化センターアートスペース

内容 インテリアセミナー(収納関係)

形態 愛知ゆとりある住まい推進協議会・中日新聞社・中部経済新聞社主催に協力参加

④関西支部「リビング&デザイン2015」

場所 大阪南港ATCホール

期間 平成27年10月14日(水)～16日(金)

内容 協会事業紹介・インテリア普及関係展示

形態 「LIVING&DESIGN2015」実行委員会主催に出展

⑤沖縄支部 トータルリビングショウ

期間 平成27年10月16日(金)～18日(日)

場所 沖縄コンベンションセンター展示棟

内容 若い世代向けのインテリアボードワークショップ

形態 沖縄タイムス社主催に出展

7-2 展示会以外のインテリア普及活動

(1) 中学校技術家庭科用のインテリア副読本の作成配布

中学生向けの「技術家庭科・副読本」の配布については、例年と同等な水準で全国の公立中学校972校に142,165部を配布して、インテリアの普及を図りました。本年度はワークシートを分離した構成にして使い勝手の改善をしました。

(2) 高校家庭科(住まい関係)用の指導用教材の試行作成

高校生にインテリアの理解を深めてもらうための家庭科指導用教材については、若い世代にも利用できるものとして、DVD「窓と窓装飾編」(15分間程度)を完成しました。次年度から配布する計画としています。

(3) 地域の図書館と連携した一般生活者向けのインテリアセミナーの開催

生活者向けに地域の図書館とタイアップしたセミナーを次のとおり本格的に各地で開催し、インテリアの普及とICの知名度の向上を図りました。

①北海道支部 2件(旭川市中央図書館ほか)

②関東甲信越支部 4件(練馬区立稲荷山図書館ほか)

③中部支部 8件(三重県立図書館ほか)

④中国支部 2件(倉敷市立中央図書館ほか)

8. 交流活動

インテリア関連の業界団体、教育機関、学術団体等との連携、関連メディアとの交流を引き続き推進しました。

また、内閣府、経済産業省など関係官公庁との連絡を的確に行い、当協会の諸事業の適正な運営に努めました。

III 協会の組織運営

1. 協会本部に設置する委員会組織体制と主な活動内容

外部有識者や協会会員企業により委員会を構成し、協会各事業の実施・運営方針等を審議するなどの活動を行い、各事業を推進しました。

具体的には次のとおり。

(1) 運営委員会

本委員会では平成28年度活動方針、同年度予算案等の審議を行い、事業計画・収支予算作成に反映など事業運営を推進しました。

(2) 情報・広報委員会

本委員会では、ホームページへのアクセス向上を図るSEO対策を推進しました。

(3) IC資格制度検討委員会

新たな役割となった中学生や高校生向けのインテリア普及（家庭科教材関係）の進捗を管理するとともに、資格者基礎アンケート調査を推進しました。

(4) インテリア普及啓発委員会

本委員会では展示会事業、「住まいのコーディネーションコンテスト」の方針立案や実施推進行うほか、本年度から開始したインテリア関係の調査研究助成のテーマ審査などを行いました。

(5) KS資格普及啓発委員会

本委員会では、「キッチン空間アイデアコンテスト」やKS・IC等が行う調査研究への助成事業の審議・実施進捗管理を行なったほか、KS資格の普及を図るため企業向けアンケートの実施に着手しました。

2. 会員活動

2-1 入会促進活動

協会ホームページや各種パンフレット等により定常的に広報を行うとともに、本部・支部の各種事業イベントを通じて、幅広く関連企業等に入会を働きかけました。年度末時点の会員数は次のとおり。

◇年度末会員数：正会員数は174（前年度164）賛助会員は22（前年度35）

2-2 「会報」の定期的な発行

協会事業活動のタイムリーな情報を盛り込んで、定期的に年4回の会報を発行しました。

2-3 会員証の年度更新等

当協会の公益事業を支え、その活動をする者の証である会員証については、年度途中で追加発行するとともに、年度末に次年度版を全会員に更新発行しました。

3. 広報活動（協会および資格制度等）

協会事業の認知度を向上、一般生活者や I C ・ K S 資格者などに向けて次のとおり広報・宣伝等を行いました。

3-1 協会ホームページのWEBコンテンツの充実など

ホームページへのアクセス向上を図る SEO 対策に取り組み、その一環としてページ内リンク構造を改善しユーザビリティの向上を図りました。

また I C 団体の活動等を紹介するページ「全国の I C 団体から」のページを新設しコンテンツの充実を行いました。

3-2 協会案内パンフレットの改訂等

協会案内パンフレットのデザインその他の大幅改訂を行ったほか、新規に事業者向けに I C ・ K S の利用を促す広報チラシ及び一般生活者向けの各種事業活動を広報するチラシを新規に作成し、事業イベント等で広く配布しました。

以 上